

サイトマップ
ログイン

REPORT

2008-05-27 22:30
西川史子が結婚間近? 桂由美のウエディングドレスをまとい堂々宣言

Print

フォントサイズ:AAA



いっかほ自らの結婚宣言を見ながら、「ブライドメイド（花嫁付き嫁いっ）」として友人の世話を焼いてきた女優・ジェーンが、夢を追い求めて来たハートフル・コメディ『幸せになるためのドレス』。連日5月31日（土）の公開前夜に本作は、4月より発売されていた『第2回 恋人の聖地 全国プロポーズの音楽コンテスト』のコラボレーション企画が発表、5月27日（火）、「恋人の聖地」に認定されている六本木ヒルズの展望台にて、コンテストの受賞作品の発表および授賞式が行われ、華やかな結婚式のファッショングザイヤーの理由としてTVでおなじみの女優・西川史子、そして音楽家の俳優両者が登場した。



「恋人の聖地プロジェクト」とは、少子化対策と地域の活性化を目的として、全国各地の観光地や地域を「恋人の聖地」として選定、その魅力を広げていくというもので、これまでに認定された場所は61ヶ所を数える。プロジェクトの一環として、6月の第1日曜日の「プロポーズの日」に個人で「全国プロポーズの音楽コンテスト」が開催された。

全国各地から集まった671件の応募の中から今回、最終発表に選ばれたのが、歌手存在汪・高橋とんとの『恋を夢見るババババ』と、未だのババババとして下さい』という音楽。シンブルマザーだった高橋とんへ、現在のご主人から贈られたという音楽、奇麗な曲の音楽を聴いて、高橋とんは「地球上どこかの宇宙飛行士の船が水圏の表を感じ、幸せをお知らせしてあげました」とうっとり。また高橋とんも「少子化、結婚率の対策として、皆様が出来るのは『結婚前夜』を全国に広げることに。是非これを、恋の聖地認定100ヶ所を目指して頑張ります」と決意を述べた。

さらにこの日、舞台に登場するウエディングドレスの発表を手伝った桂由美の口で、主催のキヤサリン・ハイブルから「あなたのドレスを着ることが私にとって最高の喜びでした。あなたのドレスは特別で、着るたびに思い出になります」という言葉をメッセージが送られた。桂由美は涙を流しながら「いろいろな御礼が来てくれるのですごく感動になります。幸せのバトンタッチをするウエディングパーティ、そしてブライドメイドの存在がいかに大切かをぜひ感じてほしい」と口々に思いの丈をアピール。高橋とんも、「前にお話を聞いて一生懸命話をしてくれて、必ず幸せになれるのだという気持ちになりました。一人でも多くの人のこの瞬間を見てほしいなと思います」と涙が止まらなかった。



そしてイベントの最大の目玉として、4人のブライドメイドに扮まれ、高橋とんお手製のかわいいしいブーケと桂由美がデザインしたウエディングドレスを着ながらお披露出した西川史子が高橋とん、ドレスを着た高橋とんに対して「おめでとう、あとお披露に行かなくてね」と自信満々の西川史子、プロポーズの言葉を交わす高橋とん「ありがとうございます! もう高橋とんお手製の素晴らしいブーケと桂由美がデザインしたウエディングドレスを着ることが私にとって最高の喜びでした。あなたのドレスは特別で、着るたびに思い出になります」という言葉をメッセージが送られた。桂由美は涙を流しながら「いろいろな御礼が来てくれるのですごく感動になります。幸せのバトンタッチをするウエディングパーティ、そしてブライドメイドの存在がいかに大切かをぜひ感じてほしい」と口々に思いの丈をアピール。高橋とんも、「前にお話を聞いて一生懸命話をしてくれて、必ず幸せになれるのだという気持ちになりました。一人でも多くの人のこの瞬間を見てほしいなと思います」と涙が止まらなかった。

「これから結婚する人はぜひ読んでほしい」と桂由美が語る『幸せになるためのドレス』。5月26日（水）に日本テレビが全国にてブレイクタイム先行上映中、31日（土）より日本テレビ系全国にて公開。



インターネットジャン